

# (公社)生体制御学会 平成28年度事業報告

## A. 会務を円滑に運営するために次の会議を行った

### 1. 総会

平成28年 6月5日(日) 午前9時～9時50分

(名古屋市立大学医学部研究棟11階 講義室B)

### 2. 理事会

平成28年 4月2日(土) 午後5時～午後7時(東洋医学研究所®)

平成28年 6月5日(日) 午後5時～午後7時(東洋医学研究所®)

平成28年12月10日(土) 午後5時～午後7時(東洋医学研究所®)

平成29年 3月5日(日) 午後5時～午後7時(東洋医学研究所®)

### 3. 評議員会

平成28年11月27日(日) 午後4時～午後7時(ルブラ王山)

平成29年 3月12日(日) 午前10時～正午

(名古屋市立大学医学部本部棟2F第1会議室)

### 4. 管理部門会議

平成29年2月4日(土) 午後5時～午後7時(東洋医学研究所®)

### 5. 事業部門会議

平成29年2月11日(土) 午後5時～午後7時(東洋医学研究所®)

### 6. (公社)生体制御学会鍼灸医学協会連絡委員会

平成29年2月26日(日) 午前11時～午後1時(ルブラ王山)

## B. 目的を遂行するために次の事業を行った

### 1. 研究活動

#### イ. 各研究班活動

各研究班が月1回研究日を設けて研究活動を行った(別紙1)

①疼痛疾患班

②循環器疾患班

③不定愁訴班

④生活習慣病班

⑤情報・評価班

⑥生体防御免疫疾患班

⑦古典文献(鍼灸)研究班

## ロ. 研究班班長会

日時：毎月第3木曜日 午後8時30分～午後10時

場所：東洋医学研究所®

内容：各班の研究活動報告及び計画

情報交換

研究における問題点の検討

研究班長勉強会

### 実施日

平成28年6月16日（木）各研究班活動報告

7月21日（木）各研究班活動報告

8月18日（木）第34回(公社)生体制御学会学術集会発表練習

8月28日（日）第34回(公社)生体制御学会学術集会に協力

9月15日（木）研究班長会 各研究班活動報告

10月20日（木）第34回(公社)全日本鍼灸学会中部支部学術集会発表練習  
研究班長会 各研究班活動報告

10月23日（日）第34回(公社)全日本鍼灸学会中部支部学術集会に参加

11月17日（木）研究班長会 各研究班活動報告

平成29年2月18日（木）研究班長会 各研究班来年度研究計画について

3月17日（木）研究班長会 各研究班来年度研究計画について

### 【原著論文】

- ・石神龍代、黒野保三、皆川宗徳、山田 篤、各務壽紀、早野順一郎：黒野式全身調整基本穴への鍼治療（筋膜上圧刺激）による睡眠の質の改善効果—OSA 睡眠調査票 MA 版を用いた自覚的な睡眠の質の評価—。全日本鍼灸学会雑誌,66(1).24-32.2016
- ・井島晴彦、石神龍代、中村 覚、橋本高史、角田洋平、角村幸治、黒野保三：黒野式全身調整基本穴への鍼治療（筋膜上圧刺激）による花粉症症状・QOL の改善効果—日本アレルギー性鼻炎標準 QOL 調査票を用いた5年間の症例集積—。全日本鍼灸学会雑誌,66(4).2016

## 2. 第34回(公社)生体制御学会学術集会の開催

日 時：平成28年8月28日（日）午前9時30分～午後4時40分

場 所：名古屋市立大学医学部総合情報センター川澄分館さくら講堂（図書館3階）

内 容

教育講演 市民公開講座・(公社)全日本鍼灸学会認定指定研修 C 講座

「なぜ『長引く痛み』がおこるのか？」

講師：愛知医科大学学際的痛みセンター

教授 牛田 享宏

司会：公益社団法人 生体制御学会

会長 皆川 宗徳

特別講演 市民公開講座・(公社)全日本鍼灸学会認定指定研修C講座

「脳を活性化し認知症を予防しよう」

講師：元名古屋市立大学長

NPO 法人健康な脳づくり

理事長 西野 仁雄

司会：愛知医科大学医学部生理学講座教授

第34回公益社団法人身体制御学会

学術集会長 岩瀬 敏

一般口演

1. 睡眠に対する鍼治療の検討

- 自覚的な睡眠の質の評価 -

山田 篤

2. 睡眠に対する鍼治療の検討

- 心拍変動解析による睡眠中の自律神経活動の評価 -

各務壽紀

3. 感性ロボットのパーソナリティとコミュニケーション

小笠原宏樹

4. 有機EL照明の覚醒レベルに対する作用：青色光に対する特異的感受性

湯田恵美

5. 頸肩部トリガーポイントに対する超音波治療が生体に及ぼす影響

肥田朋子

6. 慢性痛患者における全身温冷曝露試験での自律神経応答

櫻井博紀

7. 筋レオメーターを用いた鍼による筋緊張緩和の測定

- 置鍼群と手技群の比較 -

福永 周

8. 人工炭酸泉浸漬部位での温度感覚上昇および皮膚血管拡張機序

西村直記

9. しびれの生理学的機序

岩瀬 敏

10. アロマオイルを用いたハンドタッチが在宅家族介護者の心身にもたらす効果

須賀京子

11. 円皮鍼の刺激による総頸動脈の血流量の変化

野呂朋洋

12. 鍼刺激がヒト大脳皮質酸素化ヘモグロビン濃度変化に及ぼす影響

— 経穴の特性について —

水野海騰

13. 高反発クッション上の運動は下肢筋活動、脳波および脳血流を活性化する

白木基之

3. 第34回(公社)全日本鍼灸学会中部支部学術集会に参加

日時：平成28年10月23日(日) 午前10時30分～午後4時40分

場所：中和医療専門学校

一般口演

1. 睡眠に対する鍼治療の検討

— OSA 睡眠調査票 MA 版による自覚的な睡眠の質の評価 —

山田 篤

2. 睡眠に対する鍼治療の検討

— 睡眠中の自律神経活動の評価 —

各務壽紀

3. 末梢性顔面神経麻痺に対する鍼治療の1症例

— 発症後約3年半経過した後に鍼治療を開始したベル麻痺の症例 —

西田 修

4. 学術研修会の開催（資料 P9～15）
5. 生涯教育制度・愛知県鍼灸生涯研修会の実施（資料 P16）
6. (公社)全日本鍼灸学会認定指定研修 C 講座受講者名簿（資料 P17～19）
7. 学会誌の発行および準備
  - イ. 生体制御学会誌の発行  
生体制御学会誌第 31 号を平成 28 年 6 月に発行した
  - ロ. 生体制御学会誌の発行準備  
生体制御学会誌第 32 号の編集準備作業を行った
8. 広報活動  
定例講習会・愛知県鍼灸生涯研修会の開催予定を掲載依頼した  
第 280 回から第 284 回までの定例講習会・愛知県鍼灸生涯研修会の予定を医道の日本社編集部、医学書院 WEB 版、医学界新聞に連絡した
9. (公社)生体制御学会活動内容の整理保管した
  - イ. (公社)生体制御学会会員の業績を整理保管した
  - ロ. 第 34 回(公社)生体制御学会学術集会をアルバムに整理保管した
10. 会員相互の連絡と組織の拡充（資料 P20）
  - イ. 組織部会を 3 回開催し、組織部の活動について協議した
  - ロ. 会員の拡充に努力し、学会の啓発を図った
  - ハ. 当学会事務所との連絡を密にして、会員の入会と退会及び住所変更等の把握に努力した
11. 学術集会において鍼灸学校の学生に対しアンケートを実施した
12. 定例講習会においてアンケートを実施した
13. 治療院見学を実施した
14. 女子会員の交流を推進し、女子部の拡充を図る
  - イ. 女子部懇親会を開催し、今後の女子部の活動について話し合うとともに親睦を深めた
  - ロ. 生体制御学会の女子会員と愛知県鍼灸マッサージ師会の女子会員に、定例講習会での鍼灸学校学生向け企画の案内を発送した
15. 学会啓発活動  
平成 29 年 2 月 27 日（月）  
中和医療専門学校の卒業生に対し、(公社)生体制御学会の紹介資料並びに入会案内を持参し配布して頂いた  
平成 29 年 3 月 2 日（木）  
学校法人専門学校名古屋鍼灸学校の卒業生並びに在校生に対し、(公社)生体制御学会で行っている研究に関する講演と、当学会の紹介資料を配布して入会案内を行った